

株式会社エムアンドシーシステム 様



丸井グループ 本社
MARUI GROUP



<株式会社エムアンドシーシステムについて>

丸井グループの情報システムサービス会社。
店舗・カード・Webの三位一体型のビジネスモデル確立に向けた最適なシステムの企画・開発など、丸井グループの多様な事業活動全体を支えている。
設立 1984年、売上高 83 億 98 百万円(2012年度)。



丸井グループの3つの事業分野を支える情報システムを担っている

株式会社エムアンドシーシステム システム企画本部 システム企画部 部長の鈴木俊秀氏(写真左から2番目)、同部課長の津田修治氏(写真右から2番目)、同部リーダーの田口恭平氏(写真中央)に、オーシャンブリッジのファイル軽量化ソリューション「NXPowerLite ファイルサーバエディション」を導入された経緯や導入の効果等について伺いました。

左端：弊社取締役の菅沼、右端：弊社営業部の亀谷

「ファイルサーバーの運用コスト削減のためには、『まず軽量化ツール、次に管理ツール導入』という順番をおすすめします」

株式会社エムアンドシーシステム システム企画本部 システム企画部 部長 鈴木俊秀氏、課長 津田修治氏、リーダー 田口恭平氏

もくじ

1. NXPowerLite をどのように使っているか
2. シミュレーション機能で導入効果を予測
3. ロコミで広まり、サーバーコストの削減に結実
4. 「管理ツール」と「軽量化ツール」の優先順位

NXPowerLite をどのように使っているか

一 エムアンドシーシステム(以下 M&C)では、NXPowerLite をどのように使っていますか?

丸井グループ各社、各店舗で作られているオフィスファイルや画像ファイルの軽量化に使っています。ファイルには、たとえば本社等で作られる企画資料やプレゼン資料ファイル、丸井各店舗での売場写真の画像ファイルなどが挙げられます。

これらのファイルは、共有ファイルサーバーによって、M&Cが一括管理しています。NXPowerLiteの「ファイルサーバエディション」を導入し、現場社員に負担をかけることなく、管理者側でファイル軽量化を実行・管理しています。



業務で使われている写真の例

一 NXPowerLite の導入経緯について教えてください。

ここ数年、共有ファイルサーバーの容量圧迫に悩まされてきました。課題解決のために複数回にわたってTB単位での容量追加も行いましたが、根本的な解決には至りませんでした。その原因としては、以下の2つが挙げられます。

(1) 使われていないファイルがなかなか減らない
社内での資料の共有化が進むにつれて、かえって一人

の判断でファイルを削除することが難しくなり、共有サーバー内のファイルは溜まっていく一方でした。

(2) 1つ1つのファイルサイズの増大

ここ数年のデジタルカメラの高画質化の影響が大きいと思いますが、高画質な画像データを使用した資料が増えているのも容量圧迫の一因でした。

こうした背景が重なり、頻繁に各セクションより改善の要望を受けていました。

これらの現状を踏まえると、その都度サーバー容量を増やすのにも限界があります。そこで以下のような形で、共有ファイルサーバーの運用整備を検討し始めました。

- (1) 使われていないファイルの削除 → 不要ファイルを削除するツールの導入
- (2) 1つ1つのファイルサイズの削減 → ファイルサイズを軽量化するツールの導入
- (3) 上記(1)と(2)のツールを用いた、データ保存ルールの明確化と周知徹底

この2種類のツールの導入によって、ファイルサーバーの運用コストが下げられるかどうか、効果予測を行うことにしました。

いくつかの候補製品の中から、(1)については他社製の「ファイルサーバ管理システム」を、(2)についてはオーシャンブリッジの「NXPowerLite」を選定し、導入した場合のコスト削減効果を検証しました。

シミュレーション機能で導入効果を予測

一 2つのツールのコスト削減効果を検証した結果を教えてください。

それでは順に紹介します。まず「ファイルサーバ管理システム」についてです。これは不要ファイル候補をリストアップし、別サーバーへ移動したり、任意または自動で削除を実行したりするためのツールです。このツールの有効性を検証するために、いくつかの部署を対象に、既存のデータを下図のとおり3つのパターンに分類し、どの程度のサーバー容量削減が可能かを分析しました。

	未参照データ (2年以上閲覧無)	作成過程データ 名前類似データ	重複データ
部署A	4.1GB (13%)	15.4GB (47%)	3.6GB (11%)
部署B	3.3GB (17%)	7.1GB (36%)	0.7GB (4%)
部署C	7.3GB (17%)	19.8GB (48%)	5.0GB (12%)
部署D	1.2GB (6%)	5.6GB (28%)	0.7GB (4%)
使用容量:	32.4GB	19.8GB	19.6GB

※カッコ内は使用容量に対する比率

使用頻度が低いデータや重複データの大部分を削除し、名前類似データについてもある程度継続的に削減を続けていけば、およそ20%程度のサーバー容量削減が可能であることがわかりました。

続いて「NXPowerLite」です。オーシャンブリッジに相談したところ、NXPowerLite ファイルサーバエディションの無料体験版を用意していただけました。無料体験版には「シミュレーション機能」がついており、軽量化を行った場合の削減容量をリスクゼロで知ることができたため、2部門でシミュレーションを行った結果、下図のような結果になりました。

ファイル形式	導入前		導入後	
	軽量化前	軽量化後	軽量化前	軽量化後
Excel	47,439MB	36,794MB	10,645MB	22%
Word	137MB	44MB	91MB	66%
PowerPoint	1,330MB	445MB	884MB	66%
Jpeg (画像)	13,349MB	6,440MB	6,909MB	51%
合計	62,257MB	43,726MB	18,530MB	29%
削減率	34,302MB	34,302MB	0MB	0%
削減率	96,560MB	78,029MB	18,530MB	19%
削減率	20,448MB	14,480MB	5,968MB	29%

※対象外：圧縮ファイル、jpeg以外の画像(psd,ai,eps)、PDF等
※現在リリースされている NXPowerLite ファイルサーバエディション最新版は、PDFファイルにも対応しています。

この両方のツールを導入することで、サーバー容量を30~40%程度(1.5~2TB)削減できる見込みが立ちました。ツールの導入費用と、現状のまま運用した場合の今後のサーバー増設費用を比較しても、前者のほうがコストを抑えられることがわかりました。

2012年夏に2つのツールを導入することを決定。テスト稼働やデータ保存ルールの見直しを経て、2012年12月から本格的な運用を開始しました。

ロコミで広まり、サーバーコストの削減に結実

— NXPowerLite の導入手順や運用方法について教えてください。

軽量化による画質劣化を気にする人もいるだろうと考え、本社各部門や営業店のスタッフ向けに、NXPowerLite の説明会を実施しました。メリットを知ってもらった上で、希望する部門から順次導入を進めていこうと考えたのです。

説明会では、軽量化のための手間は一切かからないこと、ファイル名や保存場所なども変わらないこと、そして軽量化による画質劣化はほとんどなく、通常業務にはほとんど支障が無いことなどを説明しました。

また、軽量化前と軽量化後の画質を比べてもらうために、下のような比較写真を用意して大きなスクリーンに映しました。



説明会で使われた資料の一部例

反響はとても大きく、「なんだ、圧縮してもほとんど変わらないじゃないか」「確かに業務で使う分には問題無さそうだね」「うちの部署は割り当てられた容量がもう一杯だから、すぐに導入してほしい」といった声が相次ぎました。

一度いくつかの部門で導入されると、その効果がロコミで広がり、導入部門が増えていきました。

— 現時点での、NXPowerLite の導入効果はいかがでしょうか。

現時点で、軽量化を実施した部門のデータをまとめたところ、下記のような結果になりました。

- グループ各社本社合計：ファイル軽量化によってサーバー容量を **21%** 削減
- 営業店合計：ファイル軽量化によってサーバー容量を **26%** 削減
- 最も効果の大きかった部門：ファイル軽量化によってサーバー容量を **40%** 削減

導入前のシミュレーションでの予測とほぼ同じ削減効果が得られました。画像ファイルの割合の多い営業店のほうが、削減効果が高くなるようです。導入部門は日々増えていますが、丸井グループ全体で見るとまだ未導入の部門もあります。引き続き普及活動を進めていくつもりです。

また、今年の8月頃にファイルサーバーのリプレースを予定しています。これまでのリプレースでは必ずサーバー容量を増やしていましたが、今回は現状とほぼ同量で問題ないと判断しました。2つのツールの導入が、サーバーコストの削減に早速貢献してくれました。

「管理ツール」と「軽量化ツール」の優先順位

— M&C と同様に、ファイルサーバー効率化のためのツール導入を検討している企業にアドバイスはありますか。今回の取り組みを通じて得られた知見がございましたら、ぜひ教えてください。

各社ごとに状況が異なるため、参考になるかわかりませんが、実際に経験して感じたことは、やはり「使われていないファイルの削除」と「1つ1つのファイルサイズの軽量化」は両方必要だということです。

ファイルサーバー管理ツールだけでは、1つ1つのファイルサイズは大きいまですから、いつまで経っても容量を抑えることができません。そもそも、必要以上に大きなファイルを軽量化せずそのままにしておくことは無駄なことです。

一方で、NXPowerLite のようなファイル軽量化ツールだけでは、今度は使われないファイルがずっと残ることになってしまいます。両方の要素を合わせて運用ルールを見直すことが、ファイルサーバーの運用効率化のためには重要だと考えます。

— もし、2種類のツールを同時に導入することが難しい場合は、どのような手順で進めていけばいいでしょうか。

「ファイルサイズ軽量化」を優先させるのが良いと思います。

私たちは2つのツールを同時に導入しましたが、今思えば、NXPowerLite を先行させたほうが良かったかなとも考えています。理由は下記の通りです。

（理由1：運用負荷がかからない）

ファイルサーバー管理ツールを導入しても、最終的に削除の承認をするのは現場の社員です。ですから、たとえば削除対象ファイルの選定基準や抽出タイミングに冗長性を持たせないと、「このファイルは作成から1年経ちました。削除を承認しますか？」というアラートを現場社員が毎日浴び続けてしまいます。導入して終わりではなく、導入しながら運用の基準や手順を調整していくことが求められます。

一方 NXPowerLite は運用負荷がほとんどかかりません。特に現場社員は何もしなくていい。「うちの部署の最適化を実行してほしい」と申請するだけです。



"導入はまず「軽量化ツール」次に「管理ツール」の順番がおすすめです。(田口氏)

実際に導入するまでは「画質が粗くなった。やっぱり戻して」といったクレームが発生したり、それに伴って運用方法の見直しを迫られたりといった事態になることを心配していたのですが、今のところそのようなケースは一度もありません。

（理由2：リスクが低い）

NXPowerLite によるファイル軽量化によって、ファイルを1つも削除することなく、ファイル名も保存場所も変えることなく、サーバーの空き容量を増やすことができます。「本当に削除して大丈夫か？」などと悩む必要も無く、リスクの低い手段だと思います。

ですから、サーバーがいよいよ逼迫してきたという時には、まずは軽量化を実行して当面の空き容量を確保することができます。私たちが、割り当てられた容量が一杯になりそうな部署に対しては「とりあえず軽量化しては？」という提案をしています。

（理由3：コストパフォーマンスが高い）

NXPowerLite の導入費用は、同時に入れた他社製ファイルサーバー管理ツールの約4分の1でした。ツールによるサーバー容量削減効果はどちらも同じ20%前後。ですから単純に、NXPowerLite のほうがコストパフォーマンスに優れています。もし予算が限られているのであれば NXPowerLite のような軽量化ツールを先に導入し、その効果を材料にして、次にファイルサーバー管理ツールの導入を進めることをおすすめします。

— 最後に、オーシャンブリッジへメッセージをお願いします。

NXPowerLite のおかげで、無理なく共有ファイルサーバーの運用の効率化を実現することができました。更に使い込んでいくことで、効果を出し続けていきたいと思っています。また、導入前の体験版を使ったシミュレーションの時から継続して親身にサポートしていただき感謝しています。

今後ともよろしくお願いたします。

Microsoft Office ファイル・JPEG・PDF ファイルを最大 98% も軽量化！
NXPowerLite 体験版 無料ダウンロード

<https://www.nxpowerlite.jp>



NXPowerLite国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web: <https://www.oceanbridge.jp/>

Email: sales@oceanbridge.jp

TEL: 03-6809-0967 (営業部)

- NXPowerLiteはNeuxpower Solutions Ltd.の登録商標です。
- その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ご購入に関するお問い合わせは